

京都大学研究連携基盤・第Ⅱ期 未踏科学研究ユニット

持続可能社会創造ユニット

R4年度 第3回ミーティング プログラム

「東南アジアにおける持続可能社会構築に向けた防災研究と地域研究の融合を目指して」

開催日：令和4年12月7日, 20日

場所（ハイブリッド開催）：

オンサイト：東南アジア地域研究研究所 稲盛財団記念館 2F セミナー室 (I213)

<https://kyoto.cseas.kyoto-u.ac.jp/access/>

オンライン：Zoom

<https://kyoto-u-edu.zoom.us/j/7414618738?pwd=R0tjYkZzV1MweE9JUTd0YU9MV1NuUT09>

ミーティング ID: 741 461 8738 / パスワード: 0e78GV

主 旨

現在、持続可能社会創造ユニットでは東南アジア諸国を対象とした研究が推進されている。これらの研究のキーワードは持続可能社会の構築であるが、この点を研究目標とするなら、文理融合型の地域研究が必要である。たとえば、洪水氾濫に対して持続可能な社会を構築しようとするとき、水工学の研究者が水理学的な見地から提案した対策が現地に適応しなければ社会実装しても持続可能社会を構築することはできない。洪水氾濫が対象国・対象地域の社会、文化、経済的な状況や洪水氾濫の位置づけをよく知り、提案した対策を現地に適応するようにアジャストする必要がある。そこで、このミーティングでは、防災研究所と東南アジア地域研究研究所と共同で行っている研究を紹介しながら、広い視点で持続可能社会の創造に資するような連携研究の方向性について議論したい。

プログラム

12月7日

10:00 開会あいさつ

10:10 話題提供1 ベトナム・メコンデルタの農村社会の持続可能性に対する人為的および自然的要因の影響 サメ カントシュ（防災研究所・准教授）

- 10:20 話題提供 2 持続可能な防災施設としてのグリーンベルトの整備 平石哲也（防災研究所・教授）
- 10:30 話題提供 3 熱帯湿潤流域を対象にした洪水・火災リスクに対する温暖化適応策 佐山敬洋（防災研究所・准教授）
- 10:40 話題提供 4 蛇行流路河川周辺の都市の持続的な発展のための最適な河川整備の検討 竹林洋史（防災研究所・准教授）
- 10:50 総合討論
- 12:00 終了

12月20日

- 16:30 話題提供 5 豪雨に伴う土砂災害に対する地域レジリエンスの向上のための実効的斜面ハザード評価ツールの確立と供出 松四雄騎（防災研究所・准教授）
- 16:40 話題提供 6 水文・気象情報を活用した熱帯泥炭地火災のリスク評価 小川まり子（東南アジア地域研究研究所・助教）
- 16:50 話題提供 7 日本及びインドネシアにおける精神作用物質の下水疫学手法の開発 山田千佳（東南アジア地域研究研究所・助教）
- 17:00 総合討論
- 18:00 閉会挨拶

参加申込：参加申込ウェブフォーム

<https://forms.gle/L5iRP9pE9drExrtu9>

（急遽参加される場合、当日直接ご来訪いただいても差し支えございません。）

参考：持続可能社会創造ユニット ウェブサイト

<http://rurss.iae.kyoto-u.ac.jp/>

問合せ先：

東南アジア地域研究研究所 甲山 治

Tel: 075-753-9652

kozan@cseas.kyoto-u.ac.jp